



「科学館が 科学の視点で わかりやすく伝える 新型コロナウイルス」別冊

「コロナ対策」を カガクする



オーテピア
OTEPIA

高知みらい科学館
Kochi MIRAI Science Center

「コロナ対策」をカガクする

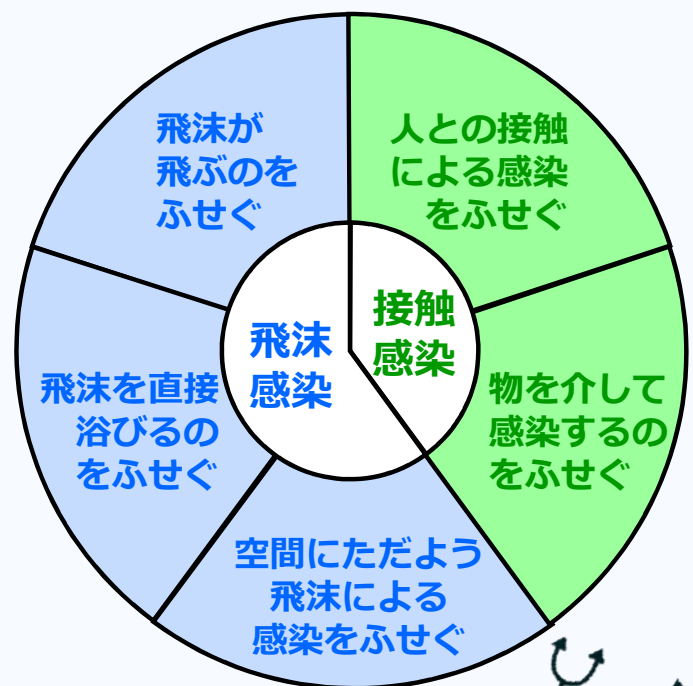
今、新型コロナウイルスの感染をふせぐため、さまざまな対策が行われていますが、なかには、「コロナ対策を徹底しています」と言いつつ、検温と手のアルコール消毒だけをして、安心してしまっているケースも見られます。検温と手のアルコール消毒だけでは、飛沫感染をふせぐことはできません。

このパンフレットでは、それぞれの対策が、新型コロナウイルス感染の主な要因である「飛沫感染」と「接触感染」のうち、「何をふせぐ対策なのか」に着目することにより、より科学的で効果的な対策を考えてもらうことを目指しています。

1つの対策のみで、右の図のうち、すべてを網羅することはできません。

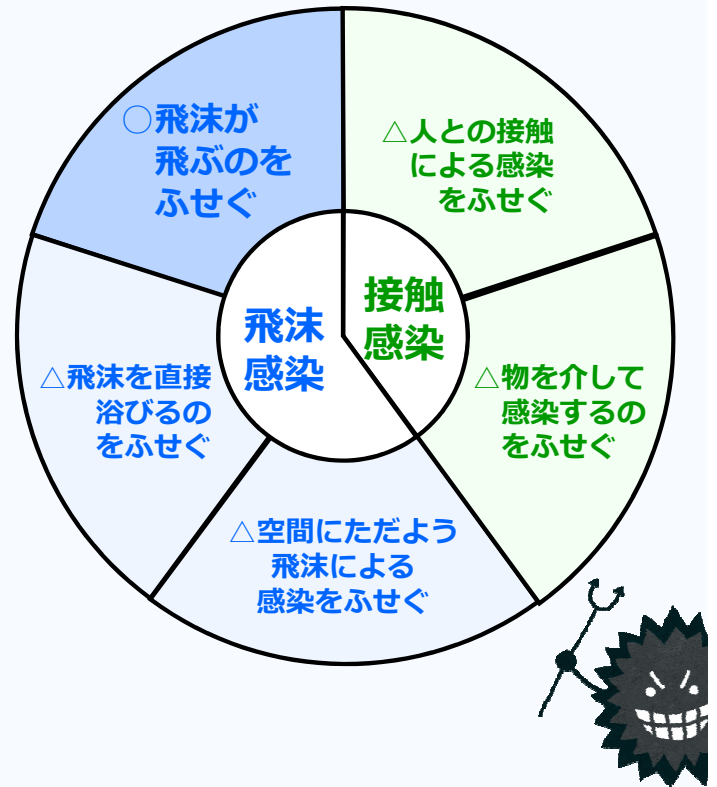
いくつかの対策を組み合わせることにより、全体として効果的な対策になるようにしないと いけません。

このパンフレットが、みなさんがこれからの新型コロナウイルス対策を考える手助けになれば幸いです。



1 自分も感染者かも…と考える

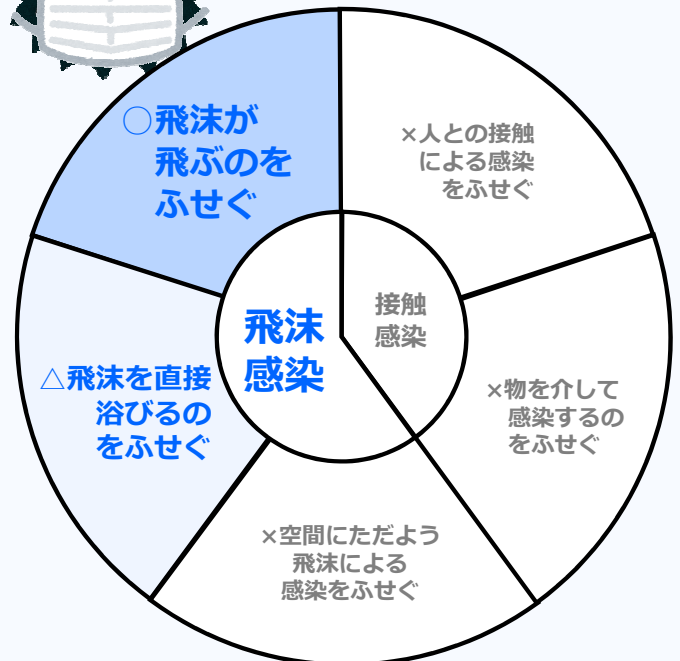
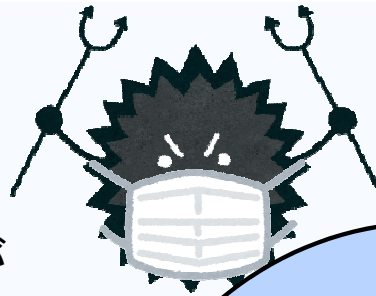
- ・新型コロナウイルスは無症状の感染者も多く、誰が感染しているかわかりません。
- ・自分も感染しているかもしれないと考え、感染を広げないために、マスクをするなどの対策をすることが、自分や家族、大切な人を守ることに繋がります。



自分も感染しているかもしれないと考え行動しましょう。

2 マスク

- ・マスクは、口から飛沫が飛び出すのをふせぐのに効果があります。
- ・近くにいる人の飛沫を直接吸いこむことはある程度ふせげますが、すき間もあるので、完全ではありません。
- ・また、空間にただよう小さい飛沫を吸いこむのをふせぐこともできません。

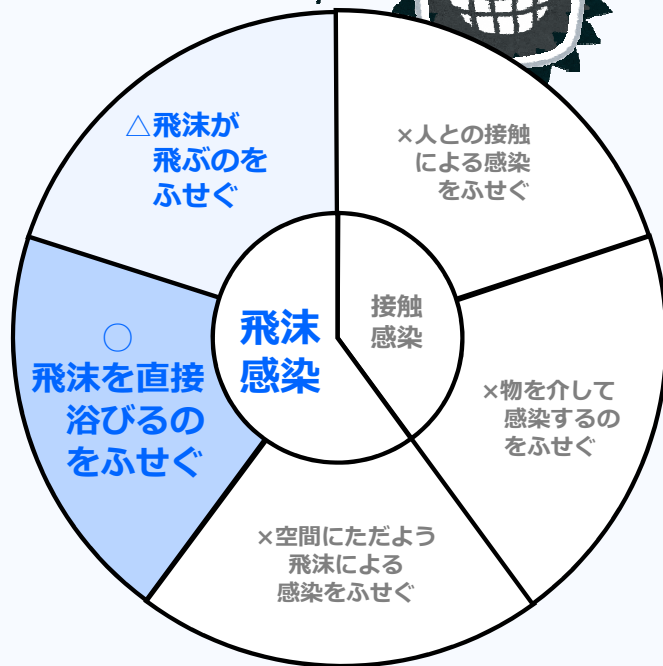


屋内や、人の近くでは、お互いにマスクをしましょう。

3 フェイスシールド

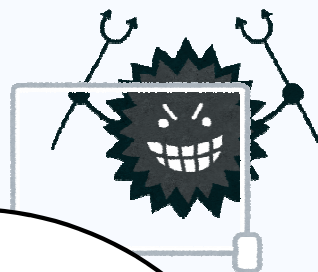


- ・フェイスシールドを使うと、相手の飛沫を目・鼻・口に直接浴びるのをふせぐことができます。特に、相手がマスクをしていない場合、フェイスシールドは有効だと考えられます。
- ・また、自分の飛沫が、直接相手にかかることもふせぐことができますが、飛沫が空間に出ていくことをふせぐことはできません。

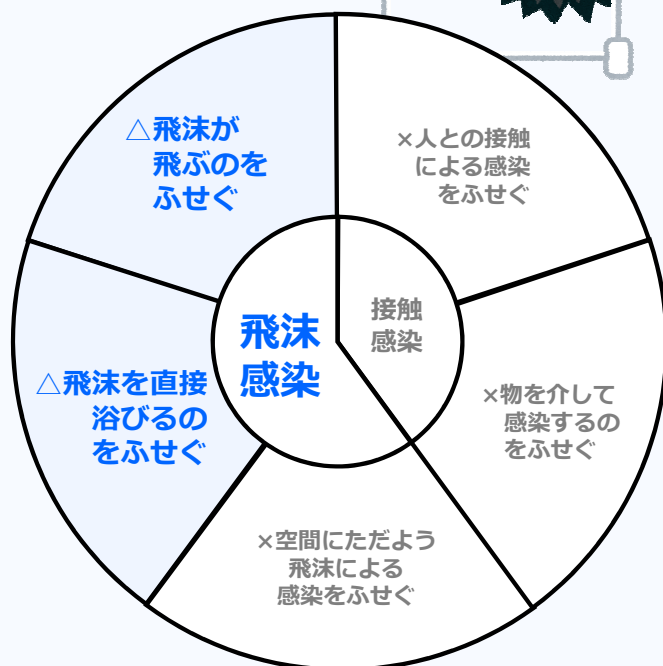


必要に応じて、フェイスシールドで身を守りましょう。

4 透明シート・アクリル板



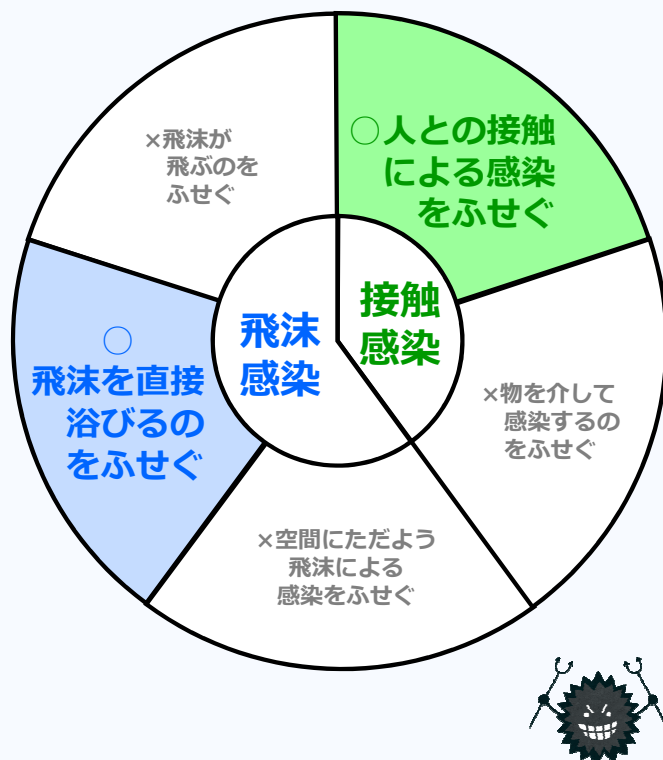
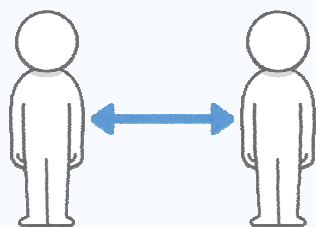
- ・間仕切りとして、透明シートやアクリル板などを使うことにより、お互いの飛沫が相手に直接かかることをふせぐことができます。
- ・ただし、開いている部分も多いので、これだけで感染をふせげるものではありません。また、飛沫が空間に出ていくのをふせぐこともできません。



透明シートなどがあっても、マスクをしておきましょう。

5 人との距離をあける

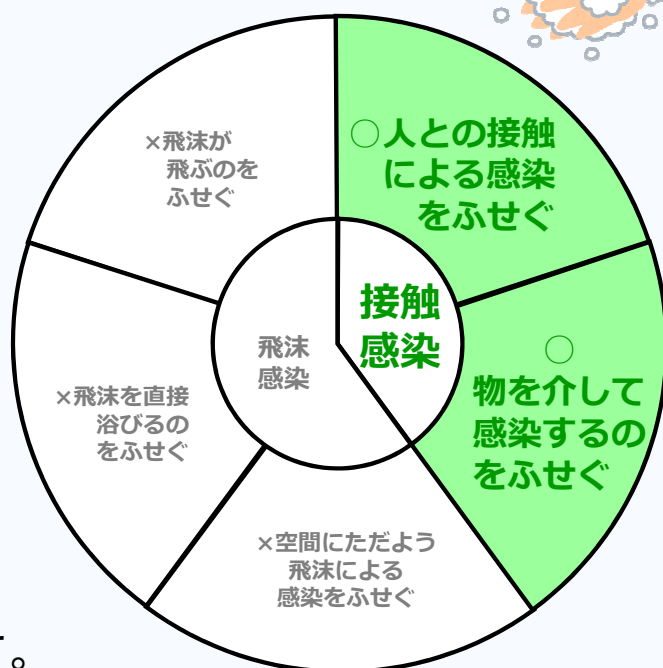
- ・ 人との距離をあけることで、ほかの人の飛沫を直接吸いこむことをふせぐことができます。
- ・ また、人と人が直接接触することによりウイルスが広がるのをふせぐこともできます。



会話をするときなどは、人との距離をあけましょう。

6 せっけんでの手洗い

- ・ せっけんで手洗いをしてよく乾かすことにより、手についたウイルスを洗い流すことができます。
- ・ ウイルスは、手ではなく、目・鼻・口などの粘膜からからだの中に入ります。多くの人々がさわるところにさわったあとは、顔にさわる前に手を洗うと、感染をふせぐことができます。

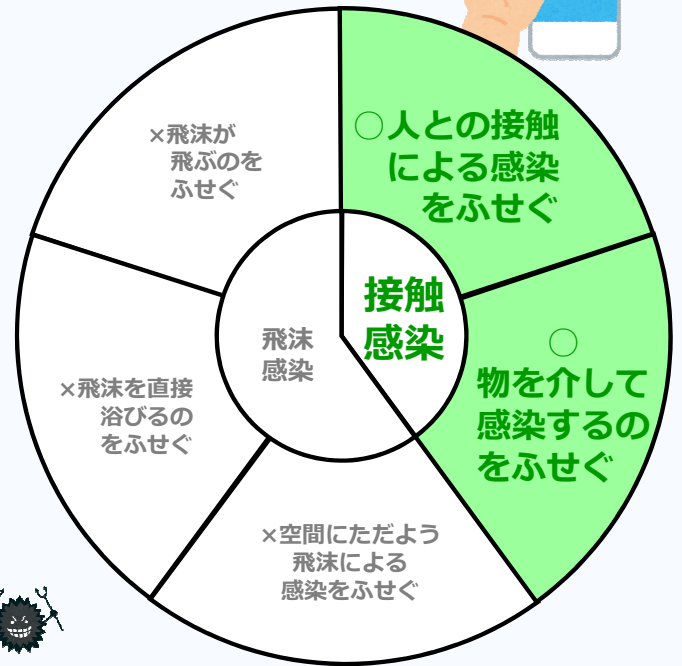


こまめに、せっけんでの手洗いをしましょう。

7 手のアルコール消毒



- ・せっけんでの手洗いができないときは、手のアルコール消毒により、手についたウイルスを消毒することができます。
- ・多くの人がさわるところにさわると、さわったあとは、せっけんでの手洗いかアルコール消毒により、感染を広げるのをふせぐことができます。

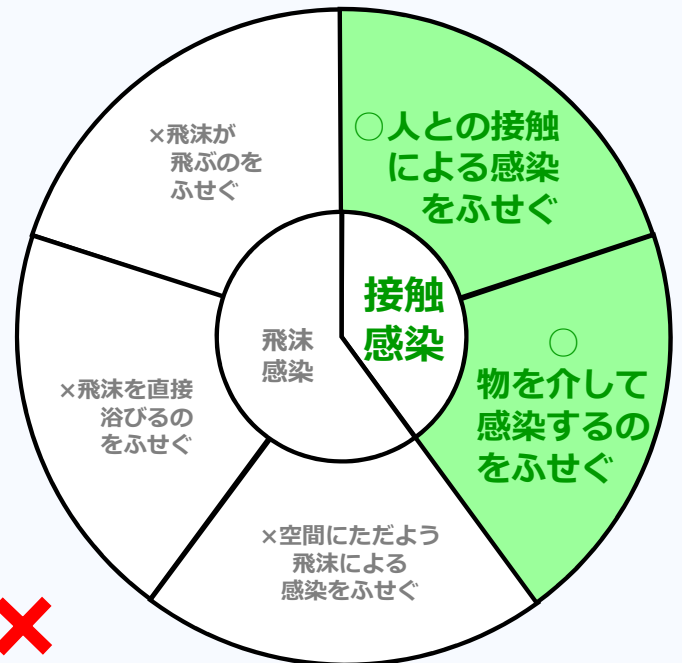
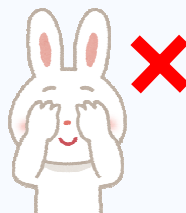


こまめに、手洗いか手のアルコール消毒をしましょう。

8 顔にさわらない



- ・ウイルスは、目・鼻・口などの粘膜からからだの中に入ります。顔にさわらないようにしておくことにより、ウイルスが体に入るのをふせぐことができます。
- ・ただし、人は無意識に顔にさわってしまうので、やはり、こまめな手洗いが必要です。

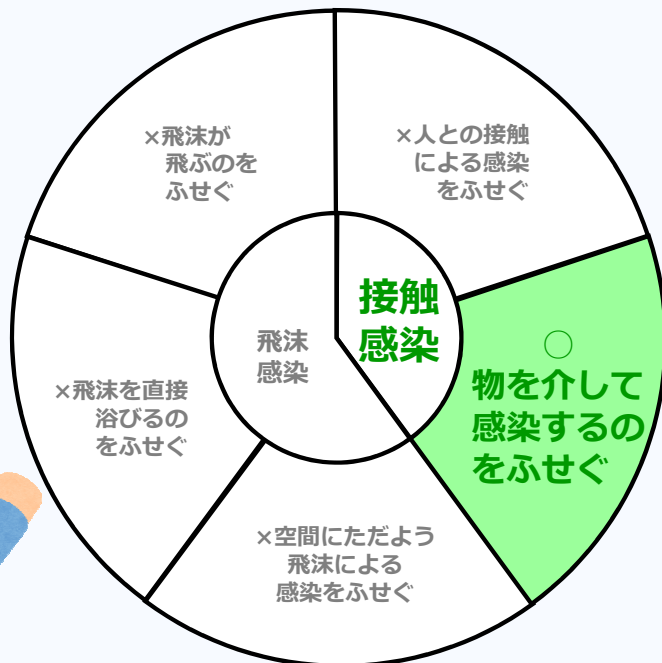
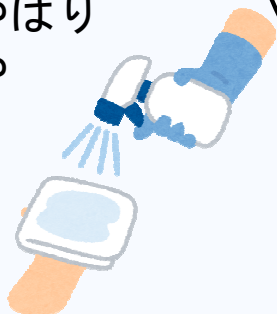


どこかにさわった手で、顔にさわらないようにしましょう。



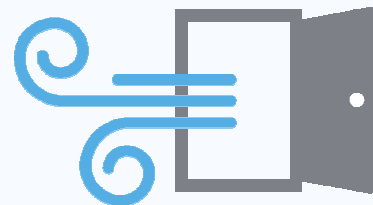
9 物の消毒

- ・多くの人がさわるところをアルコールなどを使って拭きとることにより、物についたウイルスを消毒することができます。
- ・ただし、すべての場所を消毒し続けることはできないので、やはりこまめに手洗いや手の消毒をする必要があります。

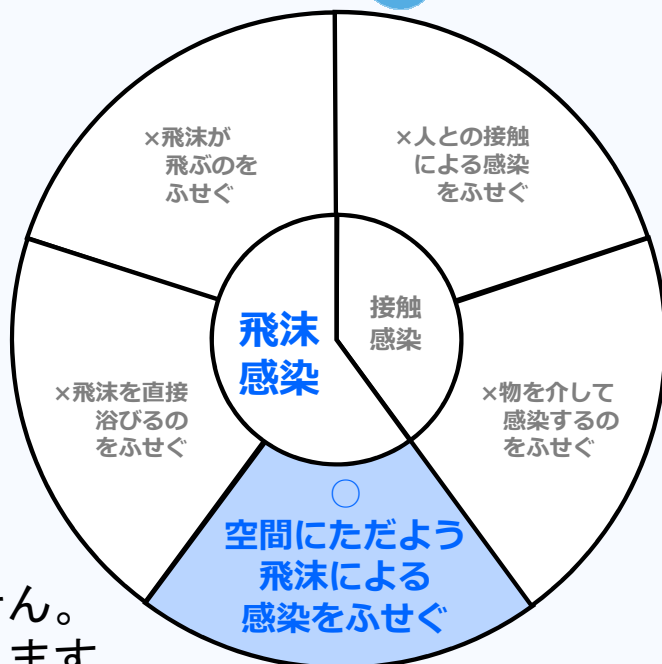


物の消毒をしても、手を洗うようにしましょう。

10 換気



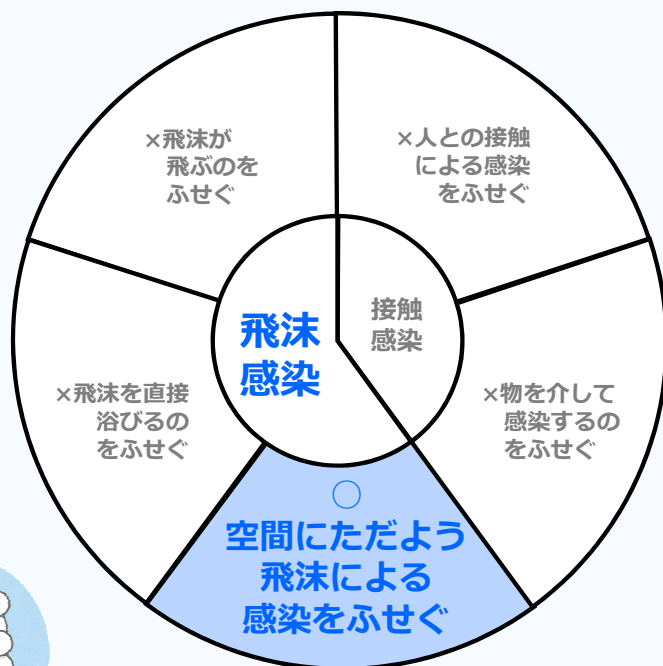
- ・換気ができていないと、空間に、小さい飛沫がただよってしまいます。感染した人がいた場合、ウイルスを含む飛沫がただよふことになります。小さい飛沫は、マスクの目を通して入ってきてしまうので、マスクをしていても、感染してしまうかもしれません。そのため、換気が必要になります。



複数の方が同じ空間にいるときは、換気をしましょう。

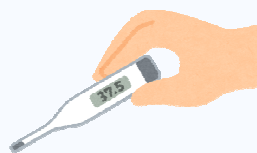
11 人が多いところに行かない

- ・特に、人が多いところは、空間に、ウイルスを含む小さい飛沫がただよっているかもしれません。
- ・小さい飛沫は、マスクの目を通して入ってきてしまうので、人が多いところに行くと、マスクをしていても、感染してしまうかもしれません。

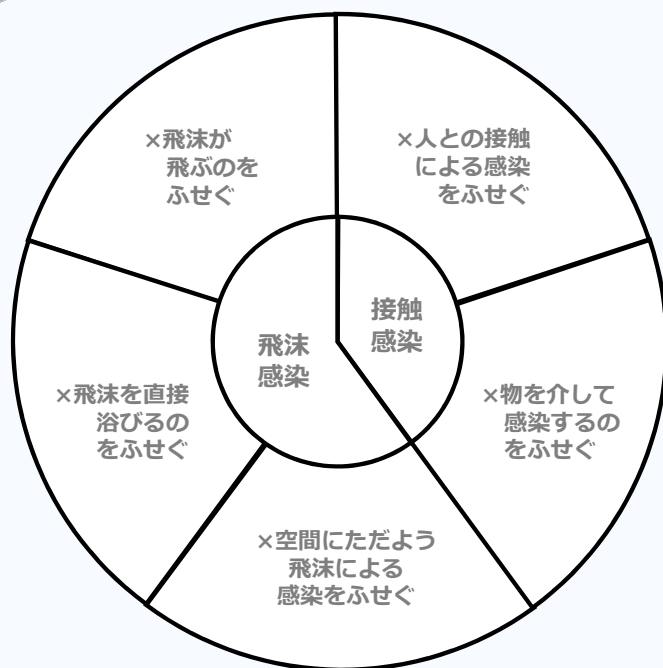
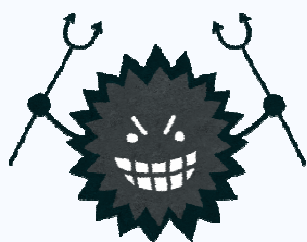


人が多いところには、行かないようにしましょう。

12 検温



- ・体温を測ることにより、感染の可能性の高い人を調べることはできますが、新型コロナウイルスは、無症状の人も多いため、それだけでは、感染をふせぐことはできません。



検温だけでなく、同時にほかの対策も行いましょう。